

# 事業報告書

(令和3年度)

社会福祉法人 相模翔優会  
特別養護老人ホーム ル・リアンふかみ

<目 次>

はじめに	2
1 理事会・評議員会開催状況	3
2 特別養護老人ホーム	4
(1) 利用者の状況とサービスの提供	4
(2) 介護主任総括	5
(3) 各ユニット報告	6
(4) 短期入所生活介護	10
(5) 利用者の健康状況	11
(6) サービスの質の向上	13
ア 相談部門	13
イ 機能訓練	16
ウ 食事の状況	16
エ 介護支援専門員	17
オ 口腔ケア指導	17
3 委員会報告	17
(1) 安全衛生委員会	17
(2) 介護サービス委員会	18
ア 食事・栄養	18
イ 排泄	18
ウ 入浴	19
エ 感染症・褥瘡予防	19
(3) 人権擁護委員会	20
(4) 総務委員会	22
ア 防災	23
イ 物品	23
(5) 行事企画担当	23
ア 研修	24
イ ボランティア活動	29
エ 外部機関との関わり	29
4 職員関係	30
(1) 職種別配置構成	30
(2) 資格取得構成	30
(3) 講師派遣・実習	31

## はじめに

今年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が続き、施設においても前年度同様に館内面会の制限、ボランティア受け入れ及び外出行事の中止をせざるを得ない状況となりました。また、地域交流の一環である夏祭り・バザー等の行事、ご利用者が楽しめる機会やご家族との交流機会が失われ、非常に残念な年度となりました。新型コロナウイルス感染症の予防対策として、職員全員 PCR 検査の実施及びご利用者・職員への新型コロナウイルス感染症ワクチン接種を実施致しました。感染者につきましては、職員の親族が感染してしまった事例がありましたが、日々感染症対策の徹底により影響は最小限に抑えられ、幸いにもご利用者の感染者を出すことなく今年度を終える事が出来ました。

今年度、看取り介護及び入院者は例年と比較して多く、入居打診に際して不備や時間を要し、通年にわたり空床状況が目立ちました。今年度事業計画の実施は、一部遅れ等がありましたが、次年度においても継承し、中長期計画として施設運営を行います。

ル・リアンふかみはユニット型特養として個別介護を推進しておりますが、個別介護を実施するにあたり、ご利用者の意向集約の場を設ける機会が少なく、全てのご要望にお応えする事が叶いませんでした。

次年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底致します。また、個別介護を進めていくため、懇談会を定期的に行います。入居待機者の円滑な入居手続きが行えるよう体制づくりに努め、入居希望者を早期にご利用いただけるよう配慮いたします。

最後となりますが、次年度は研修等による職員育成・徹底した感染症対策、災害対策体制等を柱として、事業運営をおこなってまいります。今年度が恙なく終える事が出来たのは、ひとえに皆様方のご協力の賜物と感謝するとともに、次年度に於きましても、ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

令和4年3月31日  
特別養護老人ホーム  
ル・リアンふかみ  
施設長 小泉 昇

# 1 理事会・評議員会報告

## (1) 理事会開催状況

理事 6 名 監事 2 名

回	開催年月日	出席者数	承認・決議事項
1	令和3年5月23日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1号議案 令和2年度事業報告について</li> <li>・ 第2号議案 令和2年度決算報告について</li> <li>・ 第3号議案 監事監査報告及び財産目録について</li> <li>・ 第4号議案 次回理事会・評議員会について</li> <li>・ その他 報告事項</li> </ul>
2	令和3年6月13日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1号議案 理事長選任について</li> <li>・ 第2号議案 業務執行理事について</li> <li>・ 第3号議案 次回理事会開催について</li> <li>・ その他 報告事項</li> </ul>
3	令和3年9月11日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1号議案 横浜銀行借入金借換えについて</li> <li>・ 第2号議案 育児・介護休業に関する規則について</li> <li>・ 第3号議案 次回理事会開催について</li> <li>・ その他 報告事項</li> </ul>
4	令和3年11月27日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1号議案 第1次補正予算について</li> <li>・ 第2号議案 温冷配膳車リースについて</li> <li>・ 第3号議案 次回理事会について</li> <li>・ その他 報告事項</li> </ul>
5	令和4年3月19日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1号議案 令和3年度第2次補正予算について</li> <li>・ 第2号議案 令和4年度事業計画について</li> <li>・ 第3号議案 令和4年度予算について</li> <li>・ 第4号議案 介護職員処遇改善支援補助金の取得について</li> <li>・ その他 報告事項</li> </ul>

## (2) 評議員会開催状況

評議員 7 名

回	開催年月日	出席者数	承認・決議事項
1	令和3年6月13日	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1号議案 令和2年決算報告について</li> <li>・ 第2号議案 令和2年監事監査報告及び財産目録について</li> <li>・ 第3号議案 理事選任について</li> <li>・ その他 報告事項</li> </ul>
2	令和3年9月13日	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1号議案 横浜銀行借入金借換えについて</li> <li>・ その他 報告事項</li> </ul>
3	令和3年9月14日	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1号議案 横浜銀行借入金借換えについて</li> </ul>

## 2 特別養護老人ホーム

### (1) 利用者の状況とサービスの提供

#### ア 要介護度別

令和4年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計(人)
男性	0	0	3	10	5	18
女性	0	1	26	32	11	70
計	0	1	29	42	16	88

#### イ 要介護度別月末延人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
要介護3	33	33	33	34	32	32	32	30	30	30	28	29	376
要介護4	37	37	36	36	37	37	36	37	38	38	41	42	452
要介護5	17	16	15	16	13	10	13	15	14	13	15	16	173
計	87	86	84	86	82	79	81	82	82	81	84	88	1002

#### ウ 年齢別 ※平均年齢87.1歳 最高年齢101歳

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～	計(人)
男性	0	1	0	2	4	7	4	18
女性	1	0	2	2	12	26	27	80
計	1	1	2	4	16	33	31	88

#### エ 入所前状況

	男性	女性	計(人)
在宅	9	43	52
グループホーム	3	2	5
小規模多機能施設	1	0	1
有料老人ホーム	1	9	10
サービス付き高齢者住宅	0	1	1
老人保健施設	2	15	17
病院	1	1	2
計	17	71	88

#### オ 要介護度別新規入所者数

	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

要介護 3	男性	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	女性	2	0	0	0	0	0	3	1	1	0	1	2	10
要介護 4	男性	0	0	1	0	1	0	0	1	2	0	0	0	5
	女性	1	0	0	3	1	0	2	0	1	0	0	3	11
要介護 5	男性	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
	女性	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0	5
合計		3	0	2	3	2	1	7	5	4	0	3	5	35

#### カ 退所理由

	逝去（看取り）	逝去（入院先）	長期入院	他施設入居	その他	計
男性	0	8	2	0	0	10
女性	17	6	0	1	0	24
合計	17	14	2	1	0	34

#### キ 待機者状況

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男性	1	2	12	12	6	32
女性	3	7	18	14	10	52
合計	4	9	30	26	16	84

#### ク 面会状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計（人）
面会者数	38	59	39	30	47	48	261
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計（人）
面会者数	38	34	60	37	26	6	201

年間合計 462人（月平均 38.5人）

※令和3年4月1日から令和4年3月31日まで新型コロナウイルス感染症の終息なく、緊急事態宣言及びまん延防止等特別措置等により施設正面玄関にて窓越し面会を実施。但し、看取り及び体調変化が著しい方については施設判断で喫茶室及び居室内での面会とした。

## (2) 介護主任 総括

今年度は例年にも増して、看取りとなるご利用者が多い一年となりました。複数のご利用者の看取り介護対応をするユニットもあり、不安を抱えながら対応する職員もおりました。しかし、多職種と連携しながら看取り介護に関わることで、職員の成長を感じることができました。また、新型コロナウイルス感染症予防対策の下、ご利用者様の様子を伝えることができるのかを考慮した結果、一言メモの写真添付などにより、ご家族とご利用者の思いをつなぐことができたかと捉えています。

また昨年度に引続き、ル・リアンふかみでは感染症対策により蔓延することなく今年度を終えることができました。若干名の職員の感染及び濃厚接触等により自宅待機となりましたが、ご利用者への感染はありませんでした。主任会を中心として、全職員への伝達・報告・相談が密に行われ、混乱なく対応することができました。

職員の離職も例年に比べると減らす事ができたと実感しております。雇用形態につきましては、全職

員直接雇用となっております。ハローワークならびにホームページからの職員採用が増え、人材紹介会社を介しての採用は2名で抑えることができました。

職員の教育・研修に於いては、新人教育プログラムを作成し、具体的に始め始めましたが、現段階では結果に満足出来ていません。定期的な教育プログラムの継続が十分にできなかったと反省しております。次年度は年間計画に則り、知識・スキルの向上に努め、習熟度の確認により、職員が自信を持って取り組んでいけるよう推進してまいります。外部研修においては、一年を通して、計画が不十分であり、伝達研修には至りませんでした。次年度は、「介護技術」「接遇・マナー」「認知症」「知識」を4つの柱として取り組んでまいります。各分野のスペシャリストを育成し、全職員のスキルアップを図り、施設の教育制度の基礎の構築を継続してまいります。特に、ユニットリーダーならびに中堅職員の教育は、施設運営を担う上でも重要であり、次年度も継続して実施してまいります。

### (3) 各ユニット報告

#### <1 階青ユニット>

令和3年度目標	ご利用者一人ひとりの心身の状況に沿った生活のリズムを作っていけるようなケアに努めます。
取り組み評価	ご利用者に対してヒヤリングの時間を設け、課題をひとつひとつ解決し、ご利用者が安心した生活を営むことが出来ました。
反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の要望に、他のご利用者に関わる時間や庭園散策する機会を増やしていきたいとの声が聞かれました。</li> <li>・業務改善し時間にゆとりを持つことでレクリエーションや園庭の散歩等の時間にあてる事が必要と感じました。</li> </ul>
次年度課題	懇談会を通じてご利用者の要望や意見を尊重し、施設内での余暇活動の取り組みの実施に努めてまいります。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・風船バレー・お花見

#### <1 階緑ユニット>

令和3年度目標	ご利用者、ご家族の声を聴き、アセスメントをもとにした根拠に基づいたケアに努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なアセスメントの実施によりご利用者と個々にコミュニケーションを図る事で普段とは違った日常会話やご利用者の声を聴く事が出来ました。</li> <li>・職員一人ひとりがカンファレンスの場で分析や意見交換などを行い、安全かつ根拠に基づいたケアの実施が出来ました。</li> </ul>
反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍による面会方法の制限により、介護職員とご家族との交流の場がなく、ご家族の声を聴く事が出来ませんでした。</li> <li>・ご利用者より、レクリエーション内容の要望を受け、身体を動かすような取り組みを行いたいとの声も聞かれ、ご利用者の状況に応じたレクリエーションが、充分には行えませんでした。</li> </ul>
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員とご家族との橋渡しになるよう多職種との連携を密にとり、ご家族とのコミュニケーションの機会を積極的に設けるよう努めてまいります。</li> <li>・懇談会を実施し、ご利用者の声やご利用者の意向や要望を取り入れた環境作</li> </ul>

	り、レクリエーションの実施に努めてまいります。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見

<1 階茜ユニット>

令和3年度目標	ご利用者の心身状況や意向等を理解・尊重し、お一人お一人に応じた生活を過ごせるよう努めます。
取り組み評価	居室担当者を中心にご利用者お一人お一人に接する時間を積極的に設け、ご利用者にとって有意義な毎日を過ごしていただきました。
反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室担当者によってご利用者と接する時間を十分に確保できない等の問題が見受けられました。</li> <li>・職員のスキルの違いにより、ご利用者への接し方やケア方法が異なる。居室担当者からご利用者の意向や介助方法をユニットで情報共有できるような情報発信を行う必要があると考えられる。</li> </ul>
次年度課題	職員間での情報共有を行うことで共通認識を持ち、職員の能力差によってケア内容が異ならない、統一されたケアを実施出来るよう職員のスキルアップを図ってまいります。
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・風船バレー・お花見

<2 階紫ユニット>

令和3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者のニーズを引き出し、穏やかで生きがいのある生活が送れるように支援します。</li> <li>・皮膚トラブルの予防に取り組みます。</li> <li>・ご利用者が在宅における生活との連続性を確保できるように他職種と協力し、居室内の環境整備に努めます。</li> </ul>
取り組み評価	ご利用者の皮膚トラブル予防での体位交換、記録記載を適切に行う事が出来ました。
反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間での体位交換を適切に行う等の対応を継続しましたが、皮膚トラブルを繰り返す方もおられました。日々の食事状況や車椅子上での過ごし方など様々な要因があり、より多角的な視点からアセスメント等を行うことが必要であったと考えられます。</li> <li>・職員間での情報共有が不足していると考えられたケースが多々見られ、情報共有を適切に行えるよう毎月のユニット会議に加え、必要と思われる時に職員ミーティングを速やかに行う等、情報の共有や意見交換の場を多く作る必要性があったと考えられます。</li> </ul>
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室担当者が中心となり、居室内外の環境整備を行い、安心した生活を送れるよう努めてまいります。</li> <li>・ユニット会議やミーティングを適宜行い情報の共有に努めます。</li> </ul>
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見

<2 階青ユニット>



令和3年度目標	ご利用者の意向を尊重し、日々穏やかでその人らしい生活が送れるように努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日の整容ではフェイスタオルを個々に用意するなど職員一人ひとりが意識をし取り組むことができました。</li> <li>・ 皮膚トラブルの予防・改善の為、ベット上での適切なポジショニングを意識した対応を継続して行うことができました。</li> </ul>
反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員間での情報伝達や共有が適切に行えずインシデントを招く要因となり、フロア会議やミーティング等を確実にを行い、適切な連絡及び報告される体制作りが十分ではありませんでした。</li> <li>・ ご利用者が居室内クローゼットの物を取ろうとされたことによる転倒事故が発生しました。要因として居室内の環境整備が適切でなかったため、事故予防の観点からも、ご利用者が安心できる環境作りが十分ではありませんでした。</li> </ul>
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居室担当者が中心となり、適切な整容及び環境整備等を整えます。</li> <li>・ フロア会議やミーティング等を定期的に行い、情報共有に努めます。</li> </ul>
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見

<2階緑ユニット>

令和3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご利用者が安心して過ごせる環境づくりに努めます。</li> <li>・ 接遇やコミュニケーション等の意識を高め、チームケアを目指します。</li> </ul>
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節行事や仮想バスツアー等のレクリエーションを通じて、ご利用者とのコミュニケーションを深め、充実した生活を送って頂けるよう努めました。夏祭りでは開所以来初めて館内開催となりましたが、工夫を凝らした催しとなり、ご利用者にも大変喜んで頂く事が出来ました。</li> <li>・ ご利用者の暮らしに寄り添えるよう、チームとして円滑な情報共有・業務内容改善に取り組む事が出来ました。</li> </ul>
反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、感染拡大には至りませんでした。ご利用者ならびにご家族等に対して、ご心配をお掛けしてしまいました。</li> <li>・ 整容や居室内整理の配慮に努めるよう取り組みましたが、十分ではありませんでした。</li> </ul>
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日頃から整容を徹底し、居室内の整理・整頓に努めます。</li> <li>・ 居室担当の役割を再確認し、ご利用者に合わせたケアを提供します。</li> <li>・ ご利用者、ご家族との関わりをより深めていく為にも、懇談会を設け、多職種との協力のもと、ご利用者の意向を伺います。</li> </ul>
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見・仮想バスツアー

<2階茜ユニット>

令和3年度目標	ご利用者が日々の生活を安全に、楽しく、そして前向きに過ごしていただけるように努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庭園への散歩や季節行事を通し、少しでも生活が明るく楽しく感じて頂けるように努めました。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お菓子作りや仮想バスツアー等、皆様の協力を必要としたレクリエーションを2ヶ月に一度実施しました。その他、旅行に行った気分を味わって頂けるようなレクリエーションも開催出来ました。</li> </ul>
反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、感染拡大には至りませんでした。ご利用者ならびにご家族等に対して、ご心配をお掛けしてしまいました。</li> <li>・ 急な体調変化から、退所されたご利用者が続きましたが、多職種の協力を得てご利用者・ご家族に寄り添う事が出来ました。</li> </ul>
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご利用者の心身の変化にいち早く気付けるよう、職員間の情報共有を行い業務にあたります。</li> <li>・ 引き続き整容や居室の整理整頓への意識を深めていく事を、全職員が努めてまいります。</li> </ul>
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見・仮想バスツアー

<3階青ユニット>

令和3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご利用者が楽しく、安心な日々を送れるように努めます。</li> <li>・ ご家族に安心して頂けるよう、情報共有とご希望に沿えるケアに努めます。</li> </ul>
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的なフロア会議に関しては開催できなかった月もありましたがほぼできていたと思います。また、出席できなかった職員に対する情報伝達や必要情報に関しては情報伝達ノートを活用しました。その他日々の申し送りとは別に紙に記載、デスク上に配置するようにして注意喚起を行い伝達がしっかりと行えました。</li> <li>・ お誕生日会と季節に合わせたレクリエーションを行う事ができました。</li> </ul>
反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議において一部職員のみが主体的に発言する状況が見受けられます。</li> <li>・ レクリエーションに関してはお誕生日月のご利用者をもっとクローズアップしていく必要があります。</li> </ul>
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議等すべての職員が積極的に発言、行動をするようにします。</li> <li>・ 居室担当制及び個別介護に関してカンファレンスを行い、ご利用者に適したケアを行います。</li> <li>・ お誕生日プレゼントを渡したり、ご利用者がもっと楽しめるような企画を致します。その他誕生日以外にも利用者が主体的に参加、楽しめるような事を提供してまいります。</li> </ul>
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分

<3階紫ユニット>

令和3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご利用者、職員が共に楽しく生活できるように努めます。</li> <li>・ ご利用者が、自分らしく安心して過ごせるように努めます。</li> </ul>
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修参加に関しては積極的に参加をすることが出来ました。</li> <li>・ 季節ごとのレクリエーションや掲示をしっかりと行なうことが出来ました。</li> </ul>
反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容をより一層業務に活かしていく必要があると思っています。その為の注意喚起や教育を行ってまいります。</li> <li>・ 面会制限により、ご家族へ生活状況をお伝えする機会が限られてしまいました。</li> </ul>

	た。その為毎月お送りする一言メモがより重要となります。各職員のメモの内容も以前より充実してきていますが、より一層の取り組みが必要です。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故カンファレンスを、速やかに実施してまいります。</li> <li>・ 職員間で介護技術に技量差がある為、それぞれの技術の向上を目指します。また接遇に関してよりいっそう丁寧に対応して参ります。</li> </ul>
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分

#### (4) 短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）

<3 階緑・茜ユニット>

令和3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご利用者お一人お一人の心身機能や健康状態、生活環境を把握し、適切な介護サービスを提供することで、居宅における生活と利用中の生活が継続できるように支援します。</li> <li>・ ご利用者、ご家族が安心して利用できるサービスに努めます。</li> <li>・ 居心地の良い環境を整えて参ります。</li> </ul>
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月のレクリエーションは行事担当者が中心となり実施できました。</li> <li>・ レクリエーションは身体を使い運動的なレクも取り入れながら少しずつではありますが実施できました。</li> <li>・ 事故カンファレンスも最初の方は実施できていたが、時間がかかってしまう事もあり徹底されてなかった為、期日内に実施できるように徹底致します。</li> </ul>
反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故カンファレンスは、事故発生後速やかに実施できず溜まってしまった事で職員間で事故に対する意識が薄れているように感じられる。</li> </ul>
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故カンファレンスは発見者が必ず期日内に実施致します。</li> <li>・ 利用者の退所者での身なり等、新しい苦情として項目が増えたため、今後の苦情に繋がらないよう、接遇面及び声掛け、身なり等職員間で意識付けします。</li> <li>・ レクリエーションによりご利用者の気分転換、庭園などの散歩を多く取り入れ、楽しんでもらえるよう努めます。</li> <li>・ 利用者の忘れ物が出ないように職員間で、意識付けするように努めます。</li> </ul>
行事	お誕生日会・夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・お花見

#### 年間延利用日数（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	男性	0	2	2	2	2	2	8	2	8	2	7	2	43
	女性	4	25	25	20	15	0	8	21	31	28	15	35	223
要介護2	男性	29	29	28	30	29	53	59	49	32	26	22	26	412
	女性	84	119	119	122	144	108	109	83	79	104	100	102	1276
要介護3	男性	36	23	4	22	7	14	54	60	55	54	61	74	464
	女性	174	197	196	229	227	200	167	154	193	266	225	187	2415

要介護4	男性	68	69	62	40	71	39	27	38	41	15	12	16	498
	女性	148	129	126	127	112	161	90	71	71	82	102	124	1343
要介護5	男性	21	27	24	37	14	21	26	44	23	24	20	22	303
	女性	28	13	8	8	10	19	16	8	2	25	36	39	212
要支援1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	男性	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
	女性	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
小計	男性	158	150	120	131	123	129	174	196	159	121	122	140	1723
	女性	441	483	474	506	508	488	390	337	376	505	478	487	5473
合計		599	633	594	637	631	617	564	533	535	626	600	627	7196

#### 新規ご利用者数（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	1	1	1	6	2	5	9	6	5	4	4	4	48
日数	4	7	18	54	7	68	45	27	29	31	19	34	343

#### (5) 利用者の健康状況

月別入院者数 ※上半期：男性12名、女性27名 下半期：男性7名、女性10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	3	3	2	1	3	0	2	0	2	0	1	2	19
女性	1	0	3	5	2	4	1	1	3	0	2	3	37
計	4	3	5	6	5	4	3	1	5	0	3	5	56

#### 入院状況

No.	性別	入院月日	症状・病名	入院日数	再入所日	備考
1	男	4/3	肝臓がん	28日		療養型へ
2	女	4/14	肺炎	86日		入院中ご逝去
3	男	4/21	肺炎	9日		入院中ご逝去
4	男	4/26	肺炎・尿路感染	23日	5/18	
5	男	5/7	心不全・肺炎	35日	6/10	
6	男	5/7	肺炎	32日		療養型へ
7	男	5/11	総胆管結石	10日	5/20	
8	女	6/1	大腸がん	16日	6/16	
9	女	6/25	高Ca血症	27日	7/21	
10	男	6/26	肺炎	3日		入院中ご逝去
11	女	6/28	左大腿骨頸部骨折	20日	7/17	
12	女	7/2	肺炎	8日	7/9	
13	女	7/3	肺炎	25日	7/27	
14	女	7/11	肺炎	36日	8/16	

15	男	7/13	肺炎・尿路感染	18日	7/30	
16	女	7/15	肺炎	23日	8/6	
17	女	7/21	肺炎	35日		入院中ご逝去
18	女	8/3	誤嚥性肺炎	32日	9/3	
19	女	8/9	胆管炎	89日	11/5	
20	男	8/19	肺炎・心内膜炎	45日	10/2	
21	男	8/25	肺炎・尿路感染	35日	9/28	
22	男	8/29	誤嚥性肺炎・腸閉塞	20日		療養型へ
23	女	9/6	心不全	2日		入院中ご逝去
24	女	9/10	右大腿骨骨折	110日	12/9	
25	女	9/21	誤嚥性肺炎	61日		療養型へ
26	女	9/30	誤嚥性肺炎	7日		入院中ご逝去
27	男	10/7	肺炎	37日		入院中ご逝去
28	女	10/14	炎症反応高い為精査	10日	10/23	
29	男	10/19	肺炎	5日		入院中ご逝去
30	女	11/4	慢性硬膜下血腫	15日	11/18	
31	男	12/7	右大腿骨転子部骨折	22日	12/28	
32	女	12/10	腎不全	1日	12/10	入院中ご逝去
33	男	12/13	急性心不全	1日	12/13	入院中ご逝去
34	女	12/18	肺炎・尿路感染	25日	1/11	
35	女	12/21	心肺停止で救搬	1日		入院中ご逝去
36	男	2/17	左耳下腺癌	25日	3/13	
37	女	2/27	誤嚥性肺炎	20日	3/18	
38	女	2/28	尿路感染	8日	3/8	
39	女	3/7	右大腿骨転子部骨折	20日	3/26	
40	男	3/15	肺炎			
41	女	3/21	下血			
42	男	3/22	誤嚥性肺炎			
43	女	3/25	肺炎			

#### 疾患別

No.	疾患系統	症状・病名	男性	女性	計(人)
1	悪性腫瘍	乳癌・大腸癌・前立腺癌	7	6	13
2	精神・脳神経系	精神疾患	2	7	9
		認知症	14	32	46
		パーキンソン病	1	3	4
3	消化器系	便秘	16	52	68
		胆のう・胆石	1	4	5

4	腎臓系	腎不全	1	2	3
		尿路感染	0	9	9
5	心臓・血管系	心疾患・不整脈	5	20	25
		高血圧	7	40	47
		脳出血・脳梗塞	5	20	25
6	血液系	貧血	2	6	8
7	自己免疫系	関節リウマチ	1	3	4
8	骨・関節系	骨粗鬆症	1	8	9
		大腿骨骨折	2	19	21
		腰椎圧迫骨折	5	9	14
		頸椎損傷	1	0	1
9	内分泌系	糖尿病	3	7	10
		高脂血症	1	9	10
10	感覚系	白内障	2	14	16
		緑内障	2	4	6
11	呼吸器系	肺炎	3	14	17

## (6) サービスの質の向上

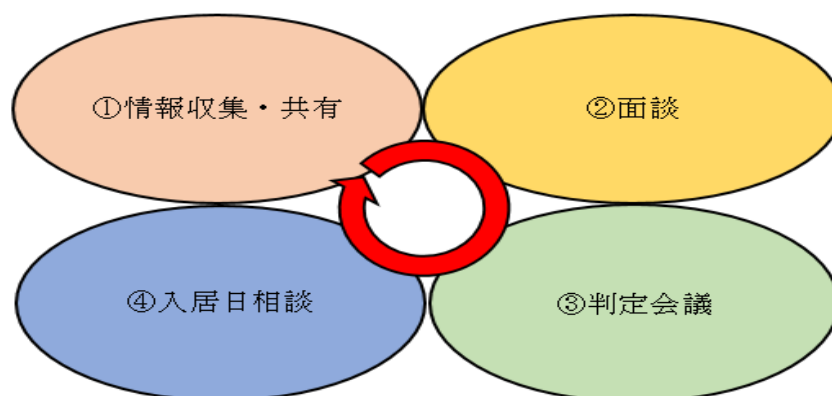
### ア 相談担当

令和3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定した事業運営のため、適切な収益確保や入退所の効率化に努めます。</li> <li>相談員間で入居待機者の把握を行い、空床期間を短縮します。</li> <li>入居及び短期入所の目標稼働率を毎年97%とします。</li> <li>生活相談員に必要なソーシャルワークを学ぶため研修参加や資格取得を目指し、相談の専門職としての質を高めます。</li> <li>介護支援事業所関連の研修や勉強会に積極的に参加します。</li> </ul>
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度における入居及び短期入所の平均稼働率は年間91.5%となり、年間目標である97%を大きく下回る結果となりました。サービス別年間稼働率は、入居84.4%、短期入所98.5%となりました。</li> <li><b>【入居】</b></li> <li>入居としては43件のうち40件(延べ837日)が内科的疾患による入院ケースが生じ、誤嚥性肺炎を含む肺炎が大半を占める結果となりました。但し、骨折による入院は今年度3件で前年度(4件)と比較し1件ではありますが減少に至りました。</li> <li>今年度は、34名退居(入院・長期療養が16名、看取り18名)、33名入居されております。特に内科的疾患では長期的な入院期間が必要とされ、状態改善せずに退居となるケースが相次ぎました。また、今年度も新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、医療機関でも入院中の面会ができない状況から</li> </ul>

	<p>か、例年より多くのご家族が「施設で最期を迎えさせてあげたい」と強くご希望され、退院と同時に看取り契約を実施し、退院後数日でご逝去されるケースが目立った一年となりました。退院後数日ではありますが、施設としてできる事、ご本人及びご家族の希望や意向に可能な限り沿った対応を実施する事が出来ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入居申込者が今年度途中で、大幅に減少致しましたが、徐々に増加傾向となっております。入居申し込みの段階で、申込者や担当者（ケアマネジャーや医療相談員等）に連絡・状況確認を行っております。短期入所をご利用されている方から入居に向けた相談を受ける機会が多くなり、入居を前提とした短期入所ご利用にもつながるケースが多くありました。</li> </ul> <p><b>【短期入所】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等が繰り返し発出されたことで利用キャンセルが相次ぎました。しかし、年度後半は徐々に新型コロナウイルス感染者数が減少傾向になったことにより、新規利用の問い合わせや利用相談が増加し、積極的に受け入れを行う事により、年間目標を達成できました。</li> <li>居宅介護支援事業所に対しては、従来から実施している FAX 等での空床案内に加え、顔が見える関係性構築のため、可能な限り居宅介護支援事業所へ足を運ぶことで、利用相談ならびに新規ご利用者獲得に繋がっております。</li> <li>ご利用終了後も、担当ケアマネジャー等にご利用状況を細かくお伝えすることで情報共有に努め、継続的な利用に繋がりました。</li> </ul>
<p>反省点と要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談員間の連携不平等によりスムーズな入居を進める事が出来ませんでした。</li> <li>相談員間の連絡体制や初動対応の不備等により長期入院や退居後の新規入居までの空所期間が長期間に渡ってしまったことで、大幅な減収や稼働率低下に繋がる結果となりました。</li> </ul>
<p>次年度課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定した事業運営のため、適切な収益確保や入退所の効率化に努めます。</li> <li>相談員間で入居待機者の把握を行い、空床期間を短縮します。また、随時面談を実施するとともに、短期入所の利用をご提案します。</li> <li>入居及び短期入所の目標稼働率を通年97%とします。</li> <li>生活相談員に必要なソーシャルワークを学ぶため研修参加や資格取得を目指し、相談専門職としての質を高めます。</li> <li>外部研修や勉強会等に積極的に参加し相談専門職のスキル向上に努めます。</li> <li>入居申込者確保のため、高齢者施設や医療機関等との関係を深めます。</li> <li>毎月相談員会議を実施し、売上や入居進捗状況確認等を確認致します。</li> </ul>
<p>次年度の取り組み</p>	<p><b>【入居・短期入所共通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護及び看護と協力し、小さな体調変化に迅速に対応し、体調不良の重症化を未然に防ぎます。長期入院や退所による空床の減少に努めます。</li> <li>毎日相談員間の打ち合わせにより、連携確保・情報共有に努めます。</li> </ul>

### 【入居】

退居から入居までを遅滞することなく、入居希望者の対応を円滑に努めます。



#### ① 入居希望者の状況収集・情報共有

- ・ 入居申込書を基に、申込者や担当ケアマネジャー、医療相談員等に連絡し、申込書には記載されていない細かな情報収集を行います。申し込みから3カ月以上経過した方については入居意思を確認します。既に他施設に入居している方は速やかに待機者リストを整理します。
- ・ 情報収集した内容を共有し、常時30名を候補者として挙げます。

#### ② 面談

- ・ 優先順位の高い方や受け入れ可能である方については、相談員間で随時面談に伺います。

#### ③ 入退所判定会議

- ・ 面談結果を基に、各専門職との情報共有及び受け入れを確認します。候補者については原則受け入れ決定の場とします。
- ・ 現入居者で体調が不安定な方（看取り契約済みの方も含む）や長期医療機関入院を避けられない方がいる状況であっても、空床期間削減のために、判定会後速やかに健康診断打診をします。

#### ④ 入居日相談

- ・ 必要書類が整い次第、入居日を相談します。
- ・ 健康診断書や診療情報提供書等は概ね3ヶ月有効とし、急な退所にもスムーズにご案内します。

### 【短期入所】

- ・ ご自宅での生活状況を適切にアセスメントし、短期入所生活介護との生活の連動性の理解に努めます。
- ・ 各居宅介護支援事業所や地域包括支援センター、医療機関と密に連絡等行い関係構築に努めます。
- ・ 緊急利用相談があった時は、入院等で空室となっている居室を有効活用し受け入れを行います。
- ・ 空き状況を電話やFAX等でお知らせし、新規ご利用者獲得に努めます。



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期入所のご利用者はもちろんのこと、そのご家族の状況、生活上の困り事を把握致します。また、介護負担軽減のご要望があれば、施設入居案内等をご家族や担当ケアマネジャーに提案します。</li> </ul>
--	---

## イ 機能訓練

令和3年度目標	ご利用者の身体機能を把握し、個人の生活に沿い無理のない個別機能訓練プログラムの立案・実施をする事で日常生活動作の低下を最小限に留められるように努めます。
取り組み評価	<p><b>【ご利用者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別機能訓練計画作成し、3ヶ月ごとの見直し及び、日常生活動作を意識した機能訓練を実施し、身体機能の維持ができました。</li> <li>・入院や体調不良での急激な身体機能の低下はありましたが、その他は、加齢等による穏やかな変化にとどまりました。</li> </ul> <p><b>【職員】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員とコミュニケーションをとり、ご利用者の状態を共有できました。</li> <li>・必要に応じて、福祉用具の見直し、多職種にて検討したのちに、適切なタイミングで福祉用具の提供ができました。</li> </ul>
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活動作を意識した個別機能訓練以外に、ご利用者の希望により、機能訓練指導員による個別訓練も実施しておりましたが、ご自身の意思が表現できない方へのかかわり方が不足しておりました。</li> <li>・関節可動域訓練や外気浴なども行っておりましたが、今後は回数も増していければと考えております。</li> </ul>
次年度課題	ご自身の意思が表現できない方へ、積極的な関わりを増やします。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別機能訓練計画の作成・見直し、実施を継続して行います。</li> <li>・介護職員と積極的にコミュニケーションをとり、ご利用者の状態の共有を行います。</li> <li>・福祉用具の使用状況の把握に努め、適切な提供ができるように努めます。</li> </ul>

## ウ 食事の状況

主食	人数	副食	人数	療養食	人数
米飯	28	常食	14	減塩食	5
粥	44	一口大	17	貧血食	9
ミキサー粥	13	刻み	26	脂質異常食	
パン	27	極刻み	12	EC食	1
パン粥	57	ミキサー	16	腎臓食	
計(人)	85	計(人)	85	計(人)	15
経口維持加算 I 64人					

## エ 介護支援専門員

令和3年度目標	現在のご利用者の心身状態に合わせた支援内容が盛り込まれた施設サービス計画書の作成を致します。
取り組み評価	・新規ご利用者ならびに病院での退院に向けての事前面談が思うように出来ない中、現在の心身状態に近づいた施設サービス計画書の作成、修正後の施設サービス計画書の作成を行うことが出来ました。
反省点と要因	・ご家族に対する聞き取りが思うようにできなかった為、生活に対する意向について内容が記入しきれなかったのではないかと思います。 ・面会制限により、ご家族が施設に来訪される機会も少なく、またご家族自から自粛された方もいらっしゃった為、対面で話を伺う機会がなかったことだと思います。
次年度課題	ご利用者の要望、希望を自ら訴える事が難しい方、ご家族からの聞き取りを目標とし、職員からの意見も交えた施設サービス計画書を作成します。
次年度の取り組み	長期目標・短期目標の見直しは入退院時や身体状況に変化がみられた時、看取り契約を新たに結ばれた時など、サービス計画書の変更が必要になった場合に長期目標及び短期目標の見直しを行います。

## オ 口腔ケア指導

取り組み評価	・今年度も新型コロナウイルス感染症対策の為、口腔ケア指導の中止があり、定期的な開催が出来ませんでした。 ・令和4年1月8日から3月7日までの間は、緊急事態宣言発令により口腔ケア指導を一時的に中止せざるを得ない状況となりましたが、歯科往診時に歯科医師及び歯科衛生士による個別指導を受けました。 ・ご利用者の嚥下状態の低下は否めないことから適切な食事形態での提供および口腔ケア実施に努め、誤嚥性肺炎の予防に努めます。
--------	--

## 3 委員会報告

### (1) 安全衛生委員会

令和3年度目標	安全な職場づくりの取り組みと職員の健康管理に努めます。
取り組み評価	・腰痛予防の為のラジオ体操を各ユニットでも実施しました。 ・年2回巡回パトロールを実施して施設内の環境整備に努めました。 ・ストレスチェックの結果を面談に役立てることができました。
反省点と要因	腰痛予防の取り組みが少なかった。
次年度課題	感染予防対策と働きやすい職場づくりに努めます。
次年度の取り組み	・職場のストレスや疲労と睡眠について取り組みます。 ・感染予防対策を職員全員で行います。

## (2) 介護サービス委員会

### ア 食事・栄養担当

令和3年度目標	食べることを通して、ご利用者の生活の質の向上に貢献します。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・5月に食中毒研修実施。</li><li>・今年度より、給食会議に介護職員が参加。厨房とのかかわりに興味を持ってもらうきっかけとなり、活発な意見交換も見られるようになりました。</li><li>・看護とのミールラウンドは月1回の実施ができていますが、歯科医師とのミールラウンドはまん延防止等特別措置、緊急事態宣言期間中の実施ができませんがありました。</li><li>・3月にセレクトメニューを実施。ご利用者に選ぶ楽しみを感じて頂く事が出来ました。</li><li>・行事食もカレンダー通りに実施しています。</li></ul>
反省点と要因	報告・連絡・相談がスムーズでないことがありました。今後も各部署との連携に留意します。
次年度課題	連携にさらに留意し、ご利用者のサービスの安定、安心して生活していただけるよう努めます。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎月、季節に合わせた行事食の提案・提供等工夫し、認知度を高めます。</li><li>・セレクトメニュー等、利用者様に楽しみに感じていただける食事提供について、給食会議等の場を通して検討していきます。</li><li>・その他、食事・栄養における課題について取り組みます。</li></ul>

### イ 排泄担当

令和3年度目標	一人ひとりの状態にあわせた排泄介助をユニットで共有し、統一した方法で介助します。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・皮膚トラブルに応じた排泄ケアを実施できました。褥瘡が発生したご利用者は、昨年度より大幅に減少いたしました。</li><li>・排泄用品の検討・変更を実施し、適切な対応ができました。</li><li>・ご利用者のプライバシーに配慮したケアを実施できました。</li><li>・排泄介助勉強会を計2回実施しました。</li></ul>
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"><li>・新規のご利用者への排泄の対応が職員で統一されるのに時間がかかってしまいました。</li><li>・排泄アセスメントの意識が十分でなく、多職種と連携を図ることで、より個別性を意識した排泄介助の実施が、今後必要であると考えました。</li></ul>
次年度課題	一人ひとりの状態にあわせた排泄介助をユニットで共有し、各職員が統一し、かつ適切な方法で介助します。
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li>・排泄検討委員会を定期的に行うことで、アセスメントへの意識を持ち、適切な排泄介助を全職員が行えるよう検討いたします。</li><li>・不安定な社会情勢が予想される中、適切な排泄用品を使用することで、コスト意識を高く持ち経費削減に努めます。</li></ul>

## ウ 入浴担当

令和3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴介助に必要な物品の補修・交換を検討します。</li> <li>・入浴担当職員とユニット職員の意見を聞き、ご利用者が満足して頂けるケアを目指します。</li> </ul>
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の機能維持、職員の腰痛予防の観点から、スライドシートやスライドボードを継続的に導入し、負担軽減につなげることができました。</li> <li>・ご利用者の身体状況、意向に合わせた入浴方法を多職種とのカンファレンスを速やかに行うことで対応することができました。</li> <li>・生活の楽しみの一つとして、ゆず湯や菖蒲湯を実施することにより、入浴時に季節感を感じて頂けることができました。</li> </ul>
反省点と要因	<p>多職種・ユニット職員との連携が不十分なところがあり、連絡が徹底されていない場面が時折みられていました。連絡を密にすることで改善されてきておりますが、速やかな対応をとることを次年度も徹底してまいります。</p>
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の状態に合わせた入浴方法・時間を検討します。</li> <li>・ご利用者のプライバシーに配慮したケアを追求します。</li> <li>・研修等へ参加を促し、入浴介助における職員の技術・知識向上を目指します。</li> </ul>
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴介助に必要な物品の補修・交換を検討し、速やかに対応していきます。</li> <li>・ご利用者の満足度を高められるように、入浴担当職員とユニット職員が共通した意識をもってケアができるよう検討します。</li> </ul>

## エ 感染症・褥瘡予防

開催回数・出席人数	<p>新型コロナウイルス予防研修、食中毒研修、感染症研修 委員会 年4回 5月、8月、11月、2月</p>
令和3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症に関わる研修を実施し、職員全体の知識向上に努めます。</li> <li>・多職種と連携し、褥瘡と皮膚トラブルの速やかな対応に努めます。</li> <li>・新型コロナウイルス感染対応を多職種と連携して取り組みます。</li> <li>・感染症予防指針を職員間に提示して行います。</li> </ul>
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防研修を行い、新入職員や非常勤職員も含む全職員に対して感染症に関する知識の向上だけでなく、感染症発生時や感染が疑われる場合の速やかな対応と対応方法の統一を行うことができました。</li> <li>・ご利用者の状態に合わせ、除圧マット及びクッションの使用方法について、他職種を交えてカンファレンスを開催し、褥瘡や皮膚トラブルの予防及び軽減をすることができました。</li> </ul>
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対応に関するビデオを作成しましたが、作成に時間を要し、今年度はビデオを活用することが出来ていなかったと思います。</li> <li>・ご利用者に適した、体位交換、ポジショニング等の方法が統一されていなかった事がありました。他職種と連携し、個々の職員に向けての研修実施を検討する必要があると思います。</li> </ul>

次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種と連携し、褥瘡と皮膚トラブル予防及び速やかな対応に努めます。</li> <li>・感染症に関わる研修を実施し、職員の知識向上に加え、感染症対応を全ての職員が統一された方法で実施出来るよう取り組みます。</li> <li>・新型コロナウイルス感染対応を多職種と連携し、感染発生及び感染拡大の防止に努めます。</li> </ul>
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対応ビデオを活用し、新人職員に向けて感染症発生時、速やかな対応が行えるよう研修を実施します。</li> <li>・褥瘡対策個別計画書を作成し、職員のレベルに合わせた研修を実施します。</li> <li>・新型コロナウイルスに関わる研修を行い予防策や発生時の対応を統一・徹底に努めます。</li> </ul>

### (3) 人権擁護委員会（兼身体拘束適正化委員会）

※4月・7月・10月・1月は、身体拘束適正化委員会を兼ねて開催致しました。

開催日	4月13日 5月11日 6月8日 7月13日 8月10日 9月14日	10月12日 11月9日 12月14日 1月11日 2月8日 3月8日
令和3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤薬事故防止を重点に、服薬方法などの検討を行い、再発防止に努めます</li> <li>・事故予防関連の勉強会やシンポジウム、研修に委員中心で参加し、事例や対応方法を学びます。</li> <li>・ご利用者及びご家族、関係団体からの意見や要望を適切に対応し、苦情へ発展しないよう努めます。</li> <li>・苦情解決関連の勉強会やシンポジウム、研修に委員中心で参加し、事例や対応方法を学びます。</li> <li>・ご利用者に尊厳ある支援・ケア実施に努めます。</li> <li>・職員の人権教育を周知徹底いたします。</li> </ul>	
取り組み評価 反省点と要因等	<p><b>【事故予防関連】</b></p> <p>普段からの細かな状況確認や入浴時等の場面で、小さな内出血や傷等が多く報告が挙がりました。ヒヤリハット報告も月平均30件前後の報告があり、ユニット内での少しの変化や出来事を記録に残す事が出来ました。骨折を伴う事故は、今年度8件（入居5件・短期入所3件）発生し、令和2年度と比較して同件となりましたが、8件のうち3件が全介助で対応中の事故が3件発生しました。他ご利用者も同時に対応しなければならない状況も多くありますが、緊急時以外は、まず目の前のご利用者の対応を優先する事を注意喚起いたしました。今年度は入退院が例年に比べて多い傾向にあったためか、入院をきっかけに身体状況や筋力低下されたご利用者が多く見られました。また日々のご利用者の身体状況にも変化が見られた時には、多職種を交えカン</p>	

	<p>ファレンスを行い対応方法について細かく検討する事が出来ました。</p> <p><b>【人権擁護関連】</b></p> <p>委員メンバー中心に接遇マナー研修や法令遵守、プライバシー、高齢者虐待・身体拘束防止、事故防止研修、人権研修等を実施しました。人権研修では法務省委託の社会福祉施設における人権啓発ビデオを活用しました。高齢者虐待防止等の観点から、具体的にどのような行為がご利用者の人権を侵害する可能性があるのかを学びました。日々の接し方や言葉掛け等の接遇面は、まだ十分ではありませんが、今後も継続した対応が必要と考えます。また、様々な場面で自分自身がご利用者だったらどのように対応してもらいたいかな等の視点で接遇対応を検討・実施致します。また、年2回高齢者虐待自己点検シートを実施し、ご利用者との日々の関わり方を見つめ直す機会を設ける事が出来ました。</p> <p><b>【苦情解決関連】</b></p> <p>今年度5件の苦情（利用者対応2件・職員対応3件）が発生し、苦情解決第三者委員へ助言を求めた事案が2件ありました。</p> <p>1例目は短期入所部門で発生した事案で、ご利用者の体調不良等の理由により、多職種協議が不十分で、かつ代替案の提案がなされず、一方的に短期入所のご利用をお断りしてしまったことでご家族及び居宅介護支援事業所より市への苦情申立がなされました。介護事業所の重要な役割として、ご利用者だけでなく、ご家族の生活を守らなければならない立場にある事、介護支援事業所や他介護サービス事業所との連携・相談不足、事業所内における多職種協議の重要性、代替案等の提案等の理解・徹底がなされていなかった事案となります。</p> <p>2例目として、職員の内部通報による苦情案件が発生しました。ご利用者対応について、部門の上長からの適切な指導が不十分で、その場しのぎの聞き取りで済ませた事により職員間による不信感を招きました。また、適切な報告がなされなかった事、適性を欠く職員に対し、継続的な教育・指導不足が露呈した結果発生した事案となりました。</p> <p>上記の2例は、苦情案件の申し立てから対応・結論までに時間が掛かり過ぎており、苦情を取り扱う委員会としての解決能力の脆弱性が露呈した案件となります。各部門（介護・看護・相談）の責任者等が委員会メンバーである為、委員会自体が主体となり、スピーディーかつ適切な協議、第三者委員からの助言等を受け、施設全体へフィードバック致します。</p>
<p>次年度課題</p>	<p><b>【事故予防関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬事故防止に重点におき、服薬方法等の検討・再発防止に努めます。</li> <li>・事故予防関連の勉強会やセミナー、研修に委員中心で参加し、事例や対応方法を学びます。</li> </ul> <p><b>【苦情解決関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者及びご家族、関係団体からの意見や要望を適切に対応し、苦情へ発</li> </ul>

	<p>展しないよう努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦情解決関連の勉強会やシンポジウム、研修に委員中心で参加し、事例や対応方法を学びます。</li> </ul> <p><b>【人権擁護関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご利用者に尊厳ある支援・ケア実施に努めます。</li> <li>・ 職員の人権教育を周知・徹底致します。</li> </ul>
次年度の取り組み	<p><b>【事故予防関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご利用者の状況変化の際には、支援の方向性について多職種で協議します。ご利用者の負担の少ない介助方法を検討及び推進します。</li> <li>・ 各ユニットで発生した事故や予防策を共有し、類似事故の減少に努めます。</li> <li>・ ヒヤリハットの検証を行い、予想されるリスクの共有に努めます。</li> <li>・ 身体拘束等適正化委員会を3ヶ月毎に開催し、身体拘束のないケアを継続します。事故対策が身体拘束や行動制限に繋がる可能性がないか検証します。</li> </ul> <p><b>【苦情解決関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご利用者及びご家族、関係団体からの意見や要望を迅速かつ懇切丁寧に対応し、各委員と内容を共有します。</li> <li>・ 苦情の内容を真摯に受け止め、「苦情・相談解決フローチャート」に基づき、苦情の早期対応・早期解決に努めます。</li> <li>・ 年3回第三者委員をお招きし、苦情解決委員会を開催します。苦情内容や対応について助言を頂き、適切に対応します。</li> </ul> <p><b>【人権擁護関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不適切なケアの防止に努め、適切なケアを推進のための教育に徹します。また、日常の関わりでも不適切な言動に対して、職員間で注意喚起を行います。</li> <li>・ 常に「自分自身が受けたいケア」を念頭に置き、委員が他職員の模範となるよう行動し、ご利用者の立場に立ったケアを実施します。</li> </ul> <p><b>【委員会共通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年2回、事故防止・身体拘束防止研修を実施します。</li> <li>・ 接遇やマナー、法令遵守、プライバシー保護関連の研修を実施します。</li> </ul>

#### (4) 総務委員会

開催回数・出席人数	4月9日…9名	10月8日…7名
	5月28日…6名	11月12日…7名
	6月29日…11名	1月13日…7名
	7月9日…8名	2月11日…6名
	9月10日…7名	

## ア 防災

令和3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川が近いので、雨・洪水などの大型災害発生リスクが高く、防災計画の見直しを常に図り、全職員に対して周知致します。</li> <li>・ 入職間もない職員も多いので防災訓練（体験型）を通じて普段から災害の恐さや準備の大切さを学びます。</li> </ul>
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度も引き続き「新型コロナウイルス」対策に気を付けつつ、委員会や防災訓練を実施しました。新しい取り組みとして、医務室内の内服薬キャビネットやカルテのキャビネットにキャスターを取り付けて、洪水発生危険時などの際に、スムーズに内服薬やカルテのキャビネットを階上階へ垂直移動させることが可能となりました。</li> <li>・ 昨年度は、夜勤帯に大きな地震が数回ありその都度、夜勤者が自主的に見回り、現場の状況を管理職へ速やかに報告することが出来ました。また、深夜の大雨についても雨量や隣接河川の水位について、情報収集を業務の傍ら行い、緊急時の行動及び連絡の発信を自らの判断で行うことが出来、総務委員はじめ職員ひとりひとりの成長を感じることのできた1年でありました。</li> </ul>
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「新型コロナウイルス」感染対策の一環で、夜間想定避難訓練が消防本部の立ち合いで実施することが出来ませんでした。</li> </ul>
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 洪水危険や大地震の際の準備や行動の大切さを委員のみならず広く全職員に周知できるような働きかけを考えなくてはなりません。</li> </ul>
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急時は、管理者及び管理職の指示の下、事業継続計画に基づき実施します。</li> <li>・ 感染対策に留意しながら計画的な防災訓練の実施と研修（座学）に努めます。</li> <li>・ 例年の防災訓練に加えて、洪水危険時の内服薬、カルテのキャビネット移動訓練の実施しを行うと共に年4回の館内巡回点検を実施します。</li> </ul>

## イ 物品

令和3年度目標	毎月末に棚卸を実施して消耗品等の不足品が生じないように管理するとともに、保管場所の衛生保全に努めます。
取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度、導入しました電解水精製装置を活用し洗剤の消費を抑えることが出来ました。</li> </ul>
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 洗濯洗剤の消費が著しく洗剤の適正量の周知徹底が行き届かませんでした。</li> <li>・ 使用済みの洗剤のボトルがそのまま留置されていることが多く、処分（分別）の判断が曖昧のため、留置されていたものと思われます。</li> </ul>
次年度課題	令和3年度と同様に、毎月末に棚卸を実施して消耗品等の不足品が生じないように管理するとともに、保管場所の衛生保全に努めます。
次年度の取り組み	衛生用品・消耗品の価格調査を実施し安価に仕入れ備蓄にも備え無駄使いとならないように大切に保管・使用いたします。

### (5) 行事企画担当

令和3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間行事を基にご利用者に四季を感じて頂けるような行事を企画します。</li> </ul>
---------	---



	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対策と社会情勢を踏まえたうえで、その時の情勢に合わせた対応をいたします。</li> </ul>
取り組み評価	<p>新型コロナウイルス感染症対策下の中、「バザー」「敬老会」は、密を避けるため、残念ながら中止となりました。「夏祭り」は、小規模ながらも、後援会協力の下、花火大会など行い、季節を感じて頂けるような行事を行いました。</p>
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対策下の中、多職種と連携をとり、感染拡大に注視しながら、行えたことは次年度以降も活かせると考えています。</li> <li>感染症予防の意識を高く持つことにより、集団での行事だけではなく、ご利用者ひとりひとりに</li> </ul>
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、新型コロナウイルス感染症対策は続くと考えられます。今年度の取り組みを活かし、小規模の行事として、年間計画を立てています。</li> <li>行事についてはコロナ禍での開催は小規模もしくは、人と人との密を避けるための工夫をし、多職種と連携をとり、ご利用者に楽しんでいただける行事を作り上げていきます。</li> </ul>
次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>庭園の散歩など、日頃から行える外気浴の機会を設け、ご利用者に季節感を感じていただけるよう努めます。</li> </ul>

5月5日～7日	菖蒲湯
7月7日	七夕
8月29日	夏祭り・花火大会
9月15日	敬老会
10月	バザー（新型コロナウイルス感染症予防のため、中止）
11月21日	お寿司屋（行事食として実施）
12月20日～22日	ゆず湯
12月27日	お餅つき
1月	初詣（新型コロナウイルス感染症予防のため、中止）
1月1日～3日	新年挨拶（お屠蘇・お年賀）
2月3日	節分
3月末	花火ドライブ（新型コロナウイルス感染症予防のため、中止）

### 令和3年度研修実績

令和3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度からの重要課題として、キャリアパス制度に基づき、各職員の能力・適正に応じた研修や勉強会を実施し、施設全体の基礎力アップや資格取得等に繋がります。</li> <li>ご利用者へのサービス向上のための知識及び技術向上を図るものとするともに、職員定着率を高めます。</li> <li>介護福祉士及び社会福祉士実習指導者の資格取得により、外部教育機関へ実習受け入れのアピールと積極的な実習受け入れを行います。</li> </ul>
取り組み評価	<b>【教育担当】</b>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入職の職員は経験・未経験問わず、研修を行うことは出来ましたが、定期的な評価を行うことには至らず、継続的な職員教育には不十分なものとなってしまいました。</li> <li>・基礎的な技術などは、多部署との連携をもちながら、必要な職員へ働きかけ、個の能力を伸ばし、基礎力のスキルアップを行えました。</li> <li>・職員の能力などを加味し、階層別にそれぞれにあった研修は、充分に行われず、職員のスキルアップや意識覚醒には不十分なものになってしまいました。</li> </ul> <p>【研修担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修もオンライン研修が中心となり、防災・感染対策のものが中心になり、今後の基礎研修のマニュアルとなる資料の作成とすることができました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策のもと、研修が中止になるものが多く、研修をどのように参加できるのかを模索する一年になりましたが、オンライン研修を行えるようになったことで、職務中に一定の時間を設けることで、研修に参加し、職員のスキルアップを図ることができました。</li> </ul>
反省点と要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策の下、計画していた研修が中止になり、派遣できない期間が長くなってしまいました。</li> <li>・施設にて、パソコンなどの環境設備を行い、オンライン研修を行えるようになりましたので、夏以降は、積極的に参加し活用することができました。</li> </ul>

【内部研修】

研修種別	内容	人数
新人職員研修 令和3年4月1日～5日 令和3年11月1日～5日 施設課 講師：小泉施設長、各主任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴時のご利用者対応</li> <li>・移乗時の注意事項</li> <li>・事故の報告・連絡・相談</li> </ul>	8名
新型コロナウイルス感染症予防研修 令和3年4月8日 感染症及び褥瘡予防委員会 講師：古橋、小倉、小泉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスとは</li> <li>・濃厚接触の定義</li> <li>・当施設での対応</li> </ul>	30名
人権研修 令和3年4月15日 人権擁護委員会 講師：山本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法務省委託「私たちの声が聞こえますか」のビデオ視聴研修</li> <li>・対人援助の良い援助者、悪い援助者を考える（グループ別）</li> </ul>	27名
介護技術講習 令和3年5月27日 主催：介護福祉士会 講師：川原俊一郎氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な移乗</li> </ul>	10名

<p>食中毒研修 令和3年5月13日 感染症及び褥瘡予防委員会 講師：井内</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食中毒の基礎的な知識</li> <li>・感染対策及び手洗いの基礎（動画）</li> </ul>	29名
<p>急変・体調不良時対応について 令和3年5月20日 施設課 講師：山本、大内</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の状態変化の特徴</li> <li>・緊急時の守ること</li> <li>・緊急時の備え</li> <li>・AEDの設置場所と使用方法</li> </ul>	24名
<p>接遇・マナー研修 令和3年6月10日 人権擁護委員会 講師：人見、山田</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇とは</li> <li>・「接客」「マナー」「接遇」の違い</li> <li>・介護業界に求められる「接遇」とは</li> <li>・「挨拶」「みだしなみ」「表情」「態度」「言葉使い」について</li> </ul>	29名
<p>スライディングボードを使った移乗方法 令和3年6月22日・23日 施設課 講師：㈱フロンティア神崎氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッドー車椅子間のスライディングボード・シートを使った移乗方法</li> <li>・腰痛予防を考えた移乗方法</li> </ul>	15名
<p>褥瘡予防・体位変換研修 令和3年6月24日 感染症及び褥瘡予防委員会 講師：小泉、内田</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡予防について</li> <li>・体位変換について</li> <li>・エアーマット・ソフトマット使用時の注意</li> </ul>	15名
<p>法令遵守・プライバシー保護研修 令和3年7月8日 施設課 講師：片桐、下野</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令遵守の意義</li> <li>・法令遵守管理規定の内容理解</li> <li>・職員倫理規程の理解</li> <li>・職員倫理規定に基づく行動指針の内容確認</li> <li>・利用者の権利擁護規定の理解</li> <li>・プライバシー保護について</li> </ul>	13名
<p>「薬」の研修 令和3年7月22日 施設課 講師：尾方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服用されたときの確認方法、飲み込みの確認方法</li> <li>・薬の必要性和副作用について 《グループワーク》</li> </ul>	20名
<p>高齢者虐待防止・身体拘束防止研修 令和3年8月19日 人権擁護委員会 講師：土屋（誠）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者虐待防止の理解</li> <li>・当施設で起こった事例検証</li> <li>・ご利用者、ご家族が不快・疑問に思っているケアと不適切なケア</li> <li>・高齢者虐待を防ぐための施設理念の共有とリスクマネジメントにおける組織運営の健全化</li> </ul>	21名

<p>高齢者の基礎疾患 令和3年8月26日 施設課 講師：松尾</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に多い疾患について</li> <li>・尿路感染症について</li> <li>・便秘</li> <li>・肺炎</li> </ul>	16名
<p>非常災害対応研修 令和3年8月5日 総務委員会 講師：深水、多田、奥</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当施設で想定される災害</li> <li>・非常災害時の連絡体制</li> <li>・災害発生時におけるBCPに向けてのフロー</li> <li>・災害時の避難ようやく・注意点 (水害・火災・地震・感染症など)</li> </ul>	17名
<p>事故予防研修 令和3年11月11日 人権擁護委員会 講師：山本、内田</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止ガイドラインについて</li> <li>・職員側の労働災害防止についての取り組み (ラジオ体操、スライディングボード)</li> </ul>	11名
<p>看取り研修 令和3年12月2日 施設課 講師：塩谷</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取りの定義</li> <li>・飲食を摂取しないことの生理学的観点からの説明</li> <li>・清潔の必要性</li> <li>・呼吸について</li> <li>・死後の処置について</li> <li>・平均寿命からの高齢者介護施設の重要性</li> </ul>	10名
<p>排泄勉強会 令和4年1月18日 施設課 講師：ネピアコンシェルジュ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オムツ交換について</li> <li>・ネピア商品の特性</li> </ul>	14名
<p>高齢者虐待防止・身体拘束防止研修 令和4年3月9日、3月23日 人権擁護委員会 講師：人見、土屋（元）、内田</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者虐待防止、高齢者虐待防止法の理解</li> <li>・当施設で起こった事例検証</li> <li>・ご利用者、ご家族が不快・疑問に思っているケアと不適切なケア</li> <li>・高齢者虐待を防ぐための施設理念の共有とリスクマネジメント・組織運営の健全化</li> </ul>	41名
<p>認知症研修 令和4年3月11日 施設課 講師：下野、土屋（誠）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の基礎知識</li> <li>・認知症の方への対応〈基礎編〉</li> <li>・事例検討</li> <li>・BPSD-NQ57について</li> </ul>	23名
<p>防災研修 令和4年3月25日 講師：山本、多田</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤、遅番を行う職員への非常時での対応についての説明</li> <li>・「自動火災報知設備」について</li> </ul>	10名

【外部研修】

研修種別	内容	参加者
介護技術の基本（階層別研修） 令和3年4月27日 主催：かながわ福祉サービス振興会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディメカニクスを考える</li> <li>・立ち上がりの基本</li> <li>・スライディングシートを使用しての移乗</li> </ul>	深水
介護の基本 令和3年7月13日、20日 主催：かなテク西部職業技術校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な介護技術</li> <li>・その他の関連事項</li> <li>・介護現場における課題と解決方法</li> </ul>	甘利
苦情解決研修会 【オンライン研修】 令和3年7月16日 主催： 神奈川県福祉サービス運営適正化委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情対応に求められる基本視点</li> <li>・苦情対応の実践報告</li> <li>・苦情対応について</li> </ul>	山田
災害時のリスク管理と業務継続計画 令和3年8月18日 主催：介護労働安定センター神奈川支所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時におけるリスクマネジメント</li> <li>・業務継続計画の策定</li> <li>・業務継続計画の周知と改善</li> </ul>	人見 奥 深水
成年後見人現任研修 【オンライン研修】 令和3年8月21日 主催：神奈川県社会福祉士会 ばあとなあ神奈川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民法858条 身上配慮義務</li> <li>・クライアントに対する倫理責任</li> <li>・自己提出事例の課題</li> <li>・本人の意思決定とは。</li> </ul>	小泉
感染予防対策 【オンライン研修】 令和3年10月28日・10月29日 令和3年11月25日・26日 主催：一般財団法人サニクリーンアカデミー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設における感染予防の基本</li> <li>・注意する感染症と予防策</li> <li>・施設における環境管理と消毒法</li> <li>・マニュアルの整備と間違いだらけの感染予防策</li> </ul>	片桐 小泉(☎) 下野 内田 尾方 塩谷 草山
令和3年度第1回 大和市認知症他職種協働研修 令和3年10月28日 主催：大和市人生100年推進課 認知症施策推進係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルツハイマー病による国内コスト</li> <li>・米国で承認されたアルツハイマー病治療新薬について</li> <li>・新薬開発の動向</li> <li>・BPSDの投薬を考える</li> </ul>	山田 下野
特定行為は治療とケアをつなぐ看護 【オンライン研修】 令和4年1月14日 主催：千葉大学医学部附属病院 総務課総合医療教育係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度実践看護に関する世界の動向と日本の制度について</li> <li>・日本での特定行為研修の実際</li> </ul>	片桐 塩谷 人見

「介護×テクノロジー」活用 【オンライン研修】 令和4年2月22日 主催：神奈川県	・導入事業所によるパネルディスカッション ・神奈川県の補助金について	山本
「災害時に逃げる」を考える 【オンライン研修】 令和4年2月25日 主催：神奈川県社会福祉協議会 第2種・第3種正会員連絡会	・災害に関する施策説明 ・マイタイムラインについて	山本 甘利
高齢者福祉施設等感染予防 スタッフ育成研修 【オンライン研修】 令和4年2月28日・3月7日・3月14日 令和4年3月2日・3月9日・3月16日 令和4年3月4日・3月10日・3月18日 主催：神奈川県保健福祉大学 実践教育センター	・高齢者福祉施設等における基本的な感染対策 ・高齢者福祉施設等における流行しやすい感染症への対策 ・高齢者福祉施設等における新型コロナウイルス感染症への対策	片桐 小泉(☎) 下野 内田 古橋 大内 桐生 西尾

## イ ボランティア活動

令和3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策渦の社会情勢を見極め、地域住民や学生ボランティア受入を検討し、地域との連携をとり、可能な範囲でボランティアとご利用者との交流の場を設けます。</li> <li>・ボランティアセンター等のインフォーマルサービスの利用及び紹介や口コミによる募集にて行います。</li> </ul>
取り組み評価	新型コロナウイルス感染症対策の中、積極的働きかけはできませんでした。
反省点と要因	お花クラブや書道クラブについては、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症予防のため、開催することはできませんでした。しかし、ユニット毎のレクリエーションの定期開催や施設庭園の散策等を重視し、ご利用者が楽しむことのできる機会を設けました。
次年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策渦の社会情勢を踏まえ、地域の社会福祉協議会や自治会との連携を図ります。</li> <li>・ボランティアコーディネーター研修に参加し、専門職員を育成します。</li> </ul>
ボランティア実績	新型コロナウイルス感染拡大防止により、受け入れ実績はありません。

## ウ 外部機関との関わり

取り組み	・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえつつ、外部機関との関わりとして、障がい者施設が販売事業（パン・弁当・マフィン等）をおこなえない等の相談があり、施設内での職員向けの販売協力をおこないました。
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人 県央福祉会 ワークステーション菜の花…マフィン販売</li> <li>・社会福祉法人 県央福祉会 希望の家…パン販売</li> </ul>
--	--

## 4 職員関係

(1) 職種別配置構成\*総務課 非常勤 管理職者、清掃を含む。 令和3年3月31日現在

区 分		常 勤	非 常 勤	計
施 設 長		1	0	1
総 務 課 (宿直・営繕も含む)		3	5	8
介 護 (清掃も含む)		37	41	78
医 務	看護師等	6	1	7
	嘱託医師	0	4	4
栄 養	管理栄養士	1	0	1
相 談	介護支援専門員	2	0	2
	機能訓練指導員	1	0	1
	生活相談員	3	0	3

(2) 資格取得構成 令和3年3月31日現在

区 分	常 勤		非 常 勤	
	男性	女性	男性	女性
介護福祉士	16	5	4	7
初任者資格	1	3	1	5
実務者研修資格	5	1	0	1
医師及び歯科医師	0	0	3	1
看護師	0	4	0	1
准看護師	0	2	0	0
社会福祉士	2	0	0	0
社会福祉主事任用資格	1	0	0	0
介護支援専門員	4	0	0	1
管理栄養士	0	1	0	0
柔道整復師	1	0	0	0

(3) 実習・見学・講師派遣関係

<見学>

\*令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、見学の受け入れは行いませんでした。

<講師派遣>

\*以下の団体に職員を講師として派遣いたしました。

依頼団体	派遣月日	内容及び会場	派遣者名
学校法人柏木学園	4月19日	柏木実業専門学校 研修センター	人見 伸吾
学校法人柏木学園	6月17日	柏木実業専門学校 研修センター	人見 伸吾
学校法人柏木学園	8月23日	柏木実業専門学校 研修センター	人見 伸吾
学校法人柏木学園	9月8日	柏木実業専門学校 研修センター	人見 伸吾
学校法人柏木学園	10月21日	柏木実業専門学校 研修センター	人見 伸吾
学校法人柏木学園	11月9日	柏木学園高校	下野 克治
学校法人柏木学園	11月18日	柏木学園高校	下野 克治
学校法人柏木学園	12月17日	柏木実業専門学校 研修センター	人見 伸吾
学校法人柏木学園	1月18日	柏木学園高校	下野 克治
学校法人柏木学園	1月27日	大和商業高等専修学校	人見 伸吾
学校法人柏木学園	2月4日	柏木学園高校	下野 克治
学校法人柏木学園	2月10日	大和商業高等専修学校	人見 伸吾
学校法人柏木学園	2月17日	柏木実業専門学校 研修センター	人見 伸吾
学校法人柏木学園	2月22日	柏木学園高校	下野 克治
学校法人柏木学園	3月4日	柏木実業専門学校 研修センター	人見 伸吾

<実習>\*以下の機関の実習を受け入れました。

社会福祉士資格取得		
教育機関	実施時期	内容
大妻女子大学	7月26日～8月26日	相談援助実習
大妻女子大学	7月26日～8月26日	相談援助実習
田園調布大学	9月1日～10月6日	相談援助実習
田園調布大学	9月1日～10月6日	相談援助実習
大妻女子大学	2月2日～3月9日	相談援助実習

教員免許資格取得		
教育機関	実施時期	内容
鶴見大学	9月13日～17日、	介護等体験
洗足学園大学	9月13日～17日・9月27日～10月1日・10月18日～22日	介護等体験
法政大学	9月13日～17日	介護等体験
國學院大學	9月13日～17日・9月27日～10月1日	介護等体験
横浜薬科大学	10月11日～15日	介護等体験
日本大学	10月18日～22日	介護等体験